

青少年アンビシャス 運動参加団体等表彰受賞

 3.14
mon

県内で子どもたちの積極性や自主性、思いやりの心を育む特に優れた活動団体を表彰する青少年アンビシャス運動参加団体等表彰。寺福童アンビシャス広場が、団体表彰を受賞しました。

広場では、子どもたちの居場所づくりとして水曜日に公民館を開所し、宿題やボール遊びなどを行っています。イベント企画時に子どもたち自身が参加し、自主性を伸ばしていることなどが評価されました。

代表の千葉さんは『『大人が楽しければ子どもも楽しい!』をモットーに、今後も子どもの声を聞き楽しい広場を開きたいと思う』と話しました。



三井高等学校が 全国と県から表彰

 3.14
mon

三井高等学校の「家庭クラブ」と「ボランティア部」が、それぞれ「第26回防災まちづくり大賞」と「福岡県青少年健全育成対策推進本部長顕彰」のダブル表彰を市長に報告しました。

市長から、表彰の感想や今までの活動で大変だったことを聞かれ、家庭クラブは「小松菜のパウンドケーキなど非常食のレシピを開発し、それを実際に家で冷凍保存するなど、災害時の備えを進めている」と話し、ボランティア部は「朝倉や熊本に復興支援に行った経験から、全く知らない人とのコミュニケーションの大変さを学べ、自分の成長につながった」と話しました。



平田家をスケッチ 子どもたちが受賞を報告

 2.25
fri

日吉慶至さん(小郡小6年・写真中央)、大澤陽向さん(小郡小5年・写真左)、藤野奈菜さん(東野小4年・写真右)が描いた平田家住宅の絵が、久留米連合文化会主催第20回ジュニア青木繁展で受賞し、その報告を平田家住宅当主の平田さんに行いました。

- ・日吉さん(西日本新聞社賞受賞)
- ・大澤さん、藤野さん(入選)

日吉さんは「これまで描いたことのない昔の古い建物だったので、より気持ちを込めて描けた」と語り、当主の平田さんは「建物を描いてもらい、それを作った先祖や大工・庭師も喜んでいと思う」と話しました。



パラスポーツを肌で感じる ブラインドと伴走者体験

 3.13
sun

バルセロナ五輪女子マラソン代表の小鴨由水さん、東京パラ五輪女子マラソン金メダリストの道下美里さんをゲストに迎え、「オリンピック・パラリンピアンと一緒に走ろう!」を行いました。

参加者はメインイベントの体験会で、アイマスクをつけてのブラインドと伴走者(ガイドランナー)体験。「見えない状態で走るのはとても怖かった」などの感想が聞かれました。

道下さんは「障がいがあってもスポーツをしたい人はたくさんいる。気軽に身近な人と声を掛け合って、スポーツを楽しんでほしい」と語りました。

